

研究導入教育特論（文献検索・活用法、プレゼンテーションの基本、研究倫理）

(選択・講義 1 単位) [教職（家庭）必修]

西塔 正孝・田中 茂穂

【授業の到達目標および概要】

授業のテーマ及び到達目標：栄養学、健康科学分野の研究を進めるために必要な基本的な知識とスキルの修得を目標とする。具体的には、①文献検索・活用方法の理解。②プレゼンテーションの基本的スキルの修得、③研究倫理に関する指針等の理解、である。また、この授業は、ディプロマポリシーにあるように、栄養学の幅広い視野に立って多様で精深な学識の修得に必要な基礎知識を養うことを目的としている。

授業の概要：研究を進めるために必要な基本的事項として、以下の学修を行う。①先行研究に関する国内外の文献検索方法とエビデンステーブルの作成。②研究会や学会発表の際のプレゼンテーションの基本的スキルとしてパワーポイントの作り方、話し方のポイント、③研究倫理に関する指針と倫理審査委員会への申請、利益相反について、データの管理、など。

【授業計画】

- ① 文献検索・活用法 1：データベース検索とハンドサーチによる検索（西塔）
- ② 文献検索・活用法 2：PubMed、医中誌 Web 等データベースの使い方（西塔）
- ③ 文献検索・活用法 3：エビデンステーブル作成の演習（西塔）
- ④ プrezentationスキル 1：研究報告のためのパワーポイントの作り方（西塔）
- ⑤ プrezentationスキル 2：研究発表会、学会等での話し方、質疑の仕方（西塔）
- ⑥ 研究倫理 1：人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針等の倫理指針（田中）
- ⑦ 研究倫理 2：倫理審査委員会への申請の必要性と研究における利益相反（COI）（田中）

【授業外学習】

学会や研究会に参加し、上手なプレゼンテーションを見る、聞く体験を重ねる。
倫理教育に関しては、大学院生は全員 CITI Japan Program を受講する。

【成績評価の方法と基準】

3つのパート（文献検索・活用、プレゼンテーション、倫理教育）の学修をふまえて、総合的なレポートを課す。レポート (60%) と授業への参加態度 (40%) で評価。

【教科書】

指定なし

【参考書】

その都度、指示。

【教材】

その都度、資料を配布する。

【備考】

修士課程の学生は全員履修すること。他大学院から進学した博士後期課程の学生にも聴講を勧める。